

若さ・情熱・行動力で

くらしと命を守る



日本共産党船橋市委員会 子どもを守る対策室長

さ か い
坂井ようすけ 36歳

プロフィール 1979年水戸市生まれ。柏日体高、城西国際大学人文学部卒、民間会社に12年間勤務。趣味は居合2段、ハイキング、スキューバダイビング。妻と子どもの3人暮らし。高根台7丁目在住。



坂井ようすけさんが新たな進路への挑戦を決めたとき、「子どもが生まれ、かわいくて仕方がない。でも男の子だから、いまのままだと戦争に行かされてしまうかもしれない。絶対にそんなことにはさせたくない。だからがんばりたい」と、これが決意の言葉でした。

身近な事柄と政治や社会のあり方を結びつけ、一度決めたら自分一人でも駅頭の宣伝に立つ意思の力を持ち、地域のみなさんの先頭に立って困難を解決する——そんな坂井ようすけさんと一緒に私も全力をつくす決意です。 日本共産党 千葉県議会議員 丸山真一



かぞく

子どもを戦場にやらないために自分は何をすべきか! 国家資格をとり、これからという時に会社を辞め市議に挑戦すると。悩みながらも、その決断に揺らがない夫の姿に、すごい人だと改めて思いました。不正に対する真っ直ぐな怒りと行動力で、頑張っって欲しいです。



新しい船橋 2015年1・2月号外
日本共産党船橋市委員会の見解を紹介します。
発行 日本共産党船橋市委員会
船橋市二和東6-41-20 電話 440-5240

応援します

坂井さんは、大事なことをわかりやすく話します。また営業の仕事の経験から、人の話を聞くのも得意です。住民の声を市議会に届けるには最適な人です。

高根台 沢田 洋二

私は坂井さんと一緒に脱原発運動をしてきました。市民の想いに寄り添う目線、世の中のおかしいことにおかしいと正義を持って言える人です。より良い街にするために応援します。

脱原発船橋(仮)
鈴木 祥子

外見は素朴だけど心は情熱的、優しいけど一度決めたら相手が誰でももの申す、そんな男です。手話でも脱原発運動でも一生懸命でした。私達一般市民の代表、期待しています。

手話で行こう(手話同好会)
阿部 健史

1、市民の暮らしを守り、 中小業者への支援を強めます

- ・国民健康保険料、介護保険料を引き下げます。
- ・特別養護老人ホームなど介護制度の拡充を図ります。
- ・住宅リフォーム助成制度復活など小規模事業者への支援を強めます。
- ・UR住宅の民営化反対、収入に応じた家賃制度を求めます。

2、子育て支援を強めます

- ・保育園を増やし、待機児をなくします。
- ・学校のトイレ改修をすすめ教育環境を改善します。
- ・学校給食などの放射能検査を強めます。
- ・全ての学校図書館に専任の司書を配置します。

3、安全安心の まちづくりを進めます

- ・歩道、自転車道の整備をすすめ、バス停に屋根とベンチを設置します。
- ・集中豪雨対策をつよめ、水害をなくします。
- ・身近な場所でスポーツに親しめるよう施設を拡充します。

4、安倍政権の悪政と きっぱりと対決します

- ・消費税10%への引き上げに反対します。
- ・「集団的自衛権行使容認の閣議決定」の撤回を求めます。
- ・原発再稼働に反対し、再生可能エネルギーへの転換を求めます。
- ・生活破壊TPP・環太平洋経済連携協定加入に反対します。
- ・自衛隊の飛行訓練

9期36年間、議会で活動する機会を与えていただいた皆さんに改めて御礼を申し上げます。今回坂井ようすけさんという新進気鋭の候補者にバトンタッチすることになりました。私以上のご支援をお願いいたします。

坂井ようすけさんとは2013年の市長選挙で、「斉藤和子勝手連」活動で初めてお会いしました。原発即時廃止、TPP加入反対等持論を堂々と主張していて大変頼もしく感じていました。高校卒業後新聞奨学生として、配達集金をして学資を得て、大学を卒業するという苦学生としての経験もしています。10年間の民間会社勤務も、議員としての活動に活かします。3.11震災、福島原発事故による大量の放射能の拡散による生命への危険が広がる中で、何とかしなければと政治に関心を持つようになりました。今も「秘密保護法施行は許せない」と船橋駅で毎月6日に宣伝を一人でも続けています。政治をまともな方向に動かしたいと奮闘する坂井ようすけさんに、皆さんのご支援を心からお願いいたします。

